

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	（理念） ・ 未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む ・ 心豊かな工口環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む ・ みんなを親しみ愛し、太陽のように温かい心を持った子どもを育む （方針） ・ 安全な環境の中で一人ひとりの育ちに寄り添い豊かな愛情を持って応答的に接する ・ 様々な経験を通して豊かな感性を育む・家庭との連携を大切にし、お子さまの成長を共に見守る
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	あいさつ、ハウレンソウ等、社会人として当り前のことを普通にできる人。 日々の保育でも、子どもの鼻水を拭く、シャツをしまう、ズボンの裾を短くする、オムツを定期的に替える、玩具をマメに片付ける、といった当り前のことを普通にやり続けられる人。 勤勉な人。 向上心のある人。 チームワークを大切にする人。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どものことを第一に考える判断力や思考力。 子どもの発達を理解し、子どもの心を受け入れる包容力。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保育園に通っている園児11世帯11人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。		
調査方法	施設の職員が調査票を保護者へ配布した。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送または施設に設置した回収箱により回収を行った。		
利用者総数	11		
利用者家族総数（世帯）	11		
共通評価項目による調査対象者数	11		
共通評価項目による調査の有効回答者数	11		
利用者総数に対する回答者割合（％）	100.0		

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」81.8%、「満足」18.2%の計100.0%であった。

自由意見では、「迎えの際、その日の様子などを細かく教えて頂けて嬉しいです。」「少人数制なので、細かく見て頂けてありがたいです。」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関することなど、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「行事日程」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」「苦情窓口」などの17問中17問が80%以上の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「親の言っていることを理解してくれることが格段に増えました」という声が寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「いつも楽しそうに制作をしている写真が見られる」という声が寄せられていた。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「家で作るご飯より栄養がありそうで感謝しかないです」「家で食べてくれないものも、保育園では完食してくれています」という声が寄せられていた。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	10	1	0	0
「はい」の回答は90.9%、「どちらともいえない」の回答は9.1%であった。 自由意見では、「どの程度が適切なのかわかりませんが、色々考えて頂いていると感じます」という声が寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	9	2	0	0
「はい」の回答は81.8%、「どちらともいえない」の回答は18.2%であった。 自由意見では、「遅くなっても笑顔で迎えてくれます。ありがとうございます」という声が寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	9	2	0	0
「はい」の回答は81.8%、「どちらともいえない」の回答は18.2%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	2	0	0
「はい」の回答は81.8%、「どちらともいえない」の回答は18.2%であった。 自由意見では、「コロナで行事などはありませんが、個人面談の日程など早めに教えてくれ、選択も広いので助かります」という声が寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「不安なことを相談したときに親身になって話を聞いてくださいました」という声が寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「いつもとてもきれいです」という声が寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「皆さん優しくかわいいエプロンをつけていて、言葉遣いなども丁寧です」という声が寄せられていた。				

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	10	1	0	0
「はい」の回答は90.9%、「どちらともいえない」の回答は9.1%であった。 自由意見では、「けがをしてしまったとき、何が原因（お友だちとけんかなど）か必ず教えてくれる」という声が寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	10	1	0	0
「はい」の回答は90.9%、「どちらともいえない」の回答は9.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	9	2	0	0
「はい」の回答は81.8%、「どちらともいえない」の回答は18.2%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	11	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	10	1	0	0
「はい」の回答は90.9%、「どちらともいえない」の回答は9.1%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ１		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ-1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 7/7
	標準項目実施状況		
	評価項目 1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（〇〇〇）
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ１の講評			
① 理念・方針の共有に向けた妥協のない運営姿勢が園運営の根幹を支えている 園の基本理念、保育方針、保育目標などが明確に示され、園に関わる方々の目に触れるホームページなどではわかりやすくビジュアル化して公開されている。事業計画では随所に園がめざすことに向けて重視する取組みが記載されている。このことから、園が大切にすることを関係者と共有することがいかに園運営の基軸になるかを経営層はよく捉えていて、方向性を地域に伝えるべく努力している姿がうかがえる。 ② 経営層の役割や責任などは「内定式資料」などの資料を使って説明されている 経営層の役割や責任、園の体制などはさまざまなマニュアルや手順書に明記して周知されていることに加え、内定式資料の「園運営の考え方」「各職務の役割について」なども使って開園当初の職員会議などの場で所信表明や年度の方針などがていねいに説明されている。また、何かあれば園長が責任を取ることを職員にはっきりと説明し、明確にしている。経営層は園内外での業務の推進に加え、職員の個人面談や保護者面談も行いながらリーダーとしての役割			

	を果たしている。 ③ 重要な案件の検討は全体による協働的な話し合いによって決定されている 重要な案件を誰かひとりが考えるのではなく、毎週行われる職員会議で検討、決定している。そこで話し合う重要な議題については、職員会議の前日に行う会議により園長・主任が決定している。また、重要な案件について職員会議参加者がそれぞれの役割の中で感想や疑問や気づきなどを述べ合い、振り返り、フォローし合う働きかけがあるため、相互の納得性が得られやすく、全体合意の上で向かうべき方向性を決めているため、ブレが少ない。組織が一体となって課題の解決などに向かいやすく、円滑な園運営を形成している。		
2	カテゴリー 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2 - 1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
	評価	標準項目	評点 (○○○○○○)
	◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2 - 2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
	評価	標準項目	評点 (○○○)
	◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる		
	評価	標準項目	評点 (○○)
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
	カテゴリー 2 の講評		

① 保護者や職員の意向、地域の福祉ニーズなどを様々な機会に、把握や検討を行っている
保護者からの意見や要望、苦情に対しては体制を整えてさまざまな状況にきめ細かく対応しており、保護者アンケートでも保育サービスの実施内容や環境整備、接遇対応など全ての面で評価が高い。また、運営委員会や行事の感想から利用者のニーズを会議で把握し、職員の意向も聞いて検討及び改善に取り組んでいる。地域レベルや福祉、保育全般に関する情報の把握と分析に関しては、行政や園長会、広報などから情報を収集している。

② 園独自の中期計画に基づき、保育力向上年間計画を策定して保育の運営を推進している
福祉事業全体の動向は、保育情報誌や関係機関（福祉広報）に目を通すほか、区から情報を得ている。事業経営を長期的視野に立って進めるために、事業所の運営状況の把握や園内で使いやすいように中・長期事業計画書に整理して、その内容は多岐にわたるが、子どもの健やかな成長を保障する環境整備や危機管理が重点テーマとなっている。保育力向上年間計画は月のテーマごとに細分化し、散歩や玩具、製作、行事などの振り返りや反省を行っている。

③ 保育理念などの運営方針に沿った中期計画を策定している
当園の中期計画（3年計画）を策定し、保育計画に則った保育の実施、組織の見直し、人事労務、経営基盤の確立、地域ニーズの把握などについての課題を取り上げて方向性を明示しています。中・長期計画を踏まえて年度事業計画を策定しており、保育運営、職員の処遇と人材育成、施設管理、保護者対応、地域連携などについての目標を設定し、計画に合わせて事務長が予算編成しています。中・長期計画の中で職員研修の目標を設定し、保育力向上年間計画をたて、毎月テーマに沿った話し合いが行われている。

3	カテゴリー 3		
	経営における社会的責任		
	サブカテゴリー 1 (3 - 1)		
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2 / 2
	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		
	評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
	◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
	サブカテゴリー 2 (3 - 2)		
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		
	評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
	評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している		
	評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当

☒ あり ☐ なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		☐ 非該当
サブカテゴリー3 (3 - 3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 (○○)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		☐ 非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点 (○○○)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など) に参画している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		☐ 非該当
カテゴリー3 の講評			
① 社会的責任のある、信頼性の高い組織づくりに取り組んでいる 園で少し気にかかることがあると、組織として積極的に捉えて対応しようとする姿勢があり、保育や子育て支援事業を担う事業所として社会的責任を果たす運営がなされている。職員の訴えから不安に思うことがあると、保育中の何かが影響したのではないかと配慮するなど、具体的な相談事例からもその姿勢は垣間見える。この意識は、保育方針の理解や園が定める「職員間倫理」に基づいた行動の振り返りを行う機会があることで醸成されている。保護者や関係者が安心して園に関わることができる信頼性の高い組織づくりに取り組んでいる。 ② 運営委員会を開催して園の透明性を高め、実習生等の受け入れ体制も整えている 園の透明性を高める取組として、第三者委員や保護者代表を含めて運営委員会を開催、今年度はコロナの影響を踏まえて文書にて実施し、特に開設2年目に伴う園のことで、保護者や委員の方の意見・意向を把握している。昨年度、実習生やボランティアの受入れ実績は、無いものの、園長が担当者となって受け入れ体制を整えている。利用者の意見や要望・苦情の把握の窓口の案内については、受付担当者、解決責任者を園のしおりや園の玄関に明記しており、苦情解決制度第三者委員者についても知らせている。第三者委員の説明は、重要事項説明で行っている。 ③ 園は子どもが成長する上で地域との交流はとても重要なことと位置づけている 当保育園では、子どもが成長する上で地域との交流はとても重要なことと考えており、近隣の老人施設や住区センターへ訪問や実習生の受入れなどを行っている。また、地域とともに子どもを育てるという考えのもと、近所の方に保育園と顔を覚えてもらうために、積極的に散歩にも取り組んでいる。今年度はコロナ禍かということもあり、なかなか計画通りに実施できていないこともあるが、当園の基本的な方針として外に遊びに行く園長の考えは保護者も評価されている。			
4	カテゴリー4		
リスクマネジメント			
サブカテゴリー1 (4 - 1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 5
評価項目 1			

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点 (〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク (事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画 (B C P) を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー 2 (4 - 2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
評価項目 1		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点 (〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員 (実習生やボランティアを含む) が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
① 危機管理マニュアルの整備とリスク軽減や対応に向けて事前準備に取り組んでいる 園では保育力向上の年間計画を策定しており、近隣の公園の散歩マップや水遊び、不審者訓練など事故への備えとして話し合っている。また、園内の事故防止の取組として、ベランダの物置転倒防止やジョイントユニット設置、2Fガード指詰め防止、保育室と廊下のコーナーガード取り付けが行われている。そのほか、水害用の土嚢の準備や防犯施設、室内外の防犯カメラの設置など安全面の強化を図っている。水遊びの目隠し用にシェードを張り、不審者訓練ではインターフォン対応を行っている。 ② 大規模災害時の対策や訓練を行い、今年度は洪水時の避難体制を強化している 大規模災害を想定した訓練やSIDS対策の見直しなど、災害時や事故への対応について対策を講じている。不審者訓練ではインターフォン対応の見直しに加えて、備蓄品は避難場所の園児と全職員の必要日数分を備蓄したりするなど、非常時への対応に関する対策を積極的に講じている。一斉配信システムを使用して家庭での防災の取組みを啓発するなども行い、保護者への防災意識向上に向けて、年1回引き取り訓練を行っている。今年度区の意向に基づき、事業継続計画 (洪水時の避難確保計画) を策定している。 ③ 個人情報保護に関する利用目的および規程類を整え、職員と保護者に周知徹底している 個人情報保護規程が整備され、実習生、ボランティアの受け入れ時オリエンテーションでの説明や、承諾書にて周知徹底が図られており、保護者には重要事項説明に明記して入園説明会で説明して理解を得ている。また、各園児の個人ファイルや会議録などは、項目別に整理して情報管理し、鍵付きの書庫にて管理している。園内にパソコンを配備し、情報の伝達と共有や記録作成など、業務の効率化と、防犯カメラの設置による子どもの情報管理や機密重要情報管理が格納され、パスワード設定によるアクセス制限を掛けて情報漏洩も防止している。		
5	カテゴリー 5	
職員と組織の能力向上		

サブカテゴリー 1 (5 - 1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
10/12		
評価項目 1		
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点 (○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目 2		
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点 (◎◎)
評価	標準項目	
○あり ◎なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ◎なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目 3		
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点 (○○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4		
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点 (○○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金・昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況 (勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど) を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 (5 - 2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
3/3		
評価項目 1		
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

7	カテゴリー5の講評	
	① 職員資質の向上のための研修目標の設定と個人育成が行われている 職員資質の向上のための研修目標の設定と個人育成が行われている職員の個人別育成計画については、自己評価を基に園長面接や、園長および法人からの育成コメントによる支援が行われている。職員の質の向上に向けた取組として研修システムがあり、研修報告書、回覧記録に取りまとめられているが、園の進むべき方向性と整合させた研修計画書の面では、今後の検討に期待したい。特に、法人としてキャリアパスの職員にわかりやすく周知する取組や、法人のキャリアパスと園の育成方針を連動させた人材育成計画の策定の面では課題が見られる。	
	② 開園2年目の保育園として保育力向上を大きな目標に掲げて取り組んでいる 園長は、園の状況を踏まえて、今後の園のさらなる保育力向上に必要なテーマとして、「戸外活動」「室内環境」「水遊び」「制作」「玩具」「行事」「保育計画」と認識しており、研修を通して人材のさらなる連携の強化をめざしている。研修実施にあたっては、園の研修年間計画を立て、組織的に実行している。職員調査の結果では、研修について積極的な共有が行われていることが伺われるなど、組織力を高めている。	
	③ 園長は職員が主体的に自らの能力を向上するように働きかけている 園は「チームワークを大切に話し合い他者との共存の中で自身の意見を発言できる職員像」を描き、その実践を支える取組を行っている。誰が特定の人か園運営や保育を語るのではなく、職員みんなが考え、報告・連絡・相談する体制をつくることにより、組織に協働的なチームワークが芽生えている。経験の浅い職員であっても、行事などを担当して周囲の職員がフォローする仕組みとするなど、実務経験から職員が能力と働きがいを向上させる取組を行っている。こうした活動により、職員が主体的に自らの能力を向上するように組織運営が行われている。	
	カテゴリー7	
	事業所の重要課題に対する組織的な活動	
	サブカテゴリー1(7-1)	
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
	評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
	前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 昨年度の重点目標としてキャリアアップ研修に積極的に参加することを掲げている。重点施策としては、キャリアアップ研修(障害児保育・食育アレルギー・マネジメント・保健衛生)に申し込んだ。結果、参加することができた。結果に対する要因としては、申込み開始時間と同時に申し込んだことが申し込みに繋がった。今年の重点目標としては、引き続きキャリアアップ研修に積極的に参加することを掲げている。	
	目標の設定と取り組み	◎具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証	◎目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	◎次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 園が大切にする保育の実現に向けて掲げたキャリアアップ研修の積極的な参加を位置づけ、申し込みを開始時間同時に行ったことで、申し込み予定通り行えたことは評価できる。今年度も昨年度同様の目標を掲げて取り組んでいる。	

評価項目 2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

昨年度の重点目標として、新園の為、施設内の設備の整備を図り、安全で生活し易い施設を目指していくことを掲げている。重点施策としては、物置の購入。ベランダへジョイントユニットを敷く。保育室、廊下などへコーナガードの取付け。防犯ロックの取付けなどを行った。目標に対する結果としては、達成度合いは7割くらい（園長より）とか・・・だいぶ整備されたが現在も整備中（園長）。結果に対する検証としては、コロナで保育が行われない休園期間（4・5月）もあり、6月に10再開、生活する中で見えてきたことがある。例えば避難訓練をする中で非常階段に分かり易く色を付けて欲しい、不審者対策で保育室に内鍵が欲しいなどの意見が出て整備し改善した。今年の重点目標としては、コロナ対策を「感染症マニュアル」「衛生管理マニュアル」に盛り込み、感染対策の意識を上げることが掲げている。

目標の設定と
取り組み

- ◎具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- ◎目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- ◎次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度の重点目標として、新園の為、施設内の設備の整備を図り、安全で生活し易い施設を目指していくことを掲げており、物置の購入、ベランダにジョイントユニットを敷く、保育室や廊下などへコーナガードを取り付ける、防犯ロックの取り付けなどを行ったことは大きな成果として評価できる。目標に対する結果（達成度合い）が7割くらいと園長が自己評価をされているが、目標が抽象的なため、100%のゴールが見えにくい点が課題と言える。結果に対する検証結果として、コロナで保育が行われない休園期間（4・5月）もあり、6月に10再開してから生活する中で見えてきたこととあるが、そもそも4・5月に何を予定だったのか、さらに6月の再開後の計画実施に軌道修正を行うことで、そして6月以降の目標に対する結果及び結果に対する検証を行えばどうだろうか。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
	評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
	評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行う	○非該当

	ている																			
	サブカテゴリー 2 の講評																			
	① 入園前面接では、基本的ルールや重要事項について一人一人丁寧に説明している 入園前面接では、「入園のしおり」や「重要事項説明書」をもとに、園の基本的ルールや重要事項について説明している。説明内容は、世の中の情勢に合わせて更新し、例えば子どもの体調の変化が見られた時の対応などについては保護者に分かりやすく伝える工夫をしている。説明の際は、保護者の要望や利用方法をその都度確認しながら丁寧に対応している。説明後には、「利用契約書」にサインをもらい同意を得ている。 ② 子ども一人一人の慣れ保育のスケジュールを組み、不安やストレスの軽減に努めている 利用開始直後の子どもの不安やストレスを軽減するために、保育時間を少しずつ延ばしていく「慣れ保育」を行っている。入園前面接で保護者の仕事の状況などを確認しながら一人一人慣れ保育のスケジュールを組み、登降園時にはできるだけ担任が子どもの様子を保護者に丁寧に伝えながら取り組んでいる。サービスの終了時には、保護者の同意のもと、転園先の園に情報提供するしくみを設けている。																			
3	サブカテゴリー 3																			
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 12/12 標準項目実施状況																		
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（○○○） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当						
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当																		
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当																		
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当																		
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（○○○○○） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当	◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当																		
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当																		
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当																		
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当																		
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当																		
	評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（○○） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当									
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当																		
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当																		
	評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（○○） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当									
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当																		
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当																		

5	サブカテゴリー 3 の講評		
	① 子どもの心身状況や生活状況等は園で統一した様式に記録し、職員間で把握している 子どもの心身状況や生活状況等は児童票や「子どもの成長と保育の経過」など、園で統一した様式に記録し職員間で把握している。「子どもの成長と保育の経過」には、何かあればその都度記録に残すことを職員間で決めており、情緒面や家庭環境の変化・保育士の対応などについて記載している。子どもや保護者の要望については毎日の連絡帳のやり取りや個人面談時に確認し記録に残している。基本情報については、年度末に全園児見直しが図られている。 ② 指導計画は、全体的な計画をもとに年間、月案、週日案で作成されている 全体的な計画は、園が大切にしている保育理念や保育方針をもとに立案されている。指導計画は、全体的な計画をもとに年間、月案、週日案で作成され、保育日誌には子どもの様子と共に評価・反省が記入されている。個別の指導計画は、全クラスの月案に立案されており、子ども一人一人を尊重した保育に努めている。月末には一人一人に対して振り返りが行われ、翌月の計画に反映している。保護者には毎月のねらいや子どもの様子などをおたよりや写真などで知らせている。 ③ 子ども一人一人に関する情報を職員間で共有している 子ども一人一人に関する情報は、保育日誌・週案へ記載し、指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについては、評価・反省欄に具体的に記録している。連絡帳は複写式になっており、1枚は個人記録として園で保管している。職員間の情報共有のしくみは、登降園の連絡事項表と申し送りノートへの記入を行い、口頭による引き継ぎも行っている。園長の期待する職員像からも「報・連・相」のできる人が求められており、情報共有を大切に捉え実践につなげている。		
	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー 5 の講評			
① 個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ている 園の公式Facebookや制作物、写真販売サイト用の写真の掲載については、入園前面接時に個人情報の取り扱いについて保護者へ説明し、同意を得た家庭のみ掲載をしている。子どもの羞恥心に配慮するために、オムツを替える際には他の人から見えなようにトイレ内で行うことを徹底している。水遊びをする際には、洋服を着たまま行い、ペラランダについたてを設置しマンションなど外部から見えなように配慮している。 ② 子どもの人権に関する研修に参加し、子ども一人一人を尊重する保育に努めている 子ども一人一人を尊重する保育を行うため、入園前面接や入園後の面談でこれまでの生活習慣や保護者からの要望などを確認し、個別の計画に反映させて保育を行っている。子どもの権利の尊重についての外部研修では、実際参加した職員が報告書を作成し、全職員で共有することで理解を深めている。また、各専門職の内容で作成された「自己評価シート」を使って自己評価を実施し、自らを振り返る機会を設けている。園内にはカメラが設置されており、常に見られている環境を作ることで、子どもの人権の尊重や虐待防止につなげている。			

6	サブカテゴリ-6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況
	5/5		
	評価項目 1		
	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	評価項目 2		
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点 (○○)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6 の講評			
① 職員用のマニュアルを配布し、一定水準の保育を提供している 当園は「保育するにあたって」や「勤務するにあたって」などの手引書には、保育するうえで園が大切にしていることなどを明記し、職員に配布している。緊急時の対応についてはフローチャートや写真などを使って分かりやすく示している。各種手引書は職員に配布し、緊急時や事故発生から30分以内に行うことなどについては更に掲示し手順を明確にしている。園の基本事項が記載されている入園のしおりの内容は適宜見直しを図り更新している。			

III サービスの実施項目 (カテゴリー 6-4)

サブカテゴリ-4			
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の 35/35 標準項目実施状況	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点(○○○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評			
① 全体的な計画をもとに各指導計画が作成され一人一人の発達の状況が確認されている 全体的な計画に基づき年間指導計画、月間指導計画、週日案が作成されている。一人一人の個別指導計画には生活や遊び、発達の状況が記載されている。保育内容は保育日誌に記載され保護者には連絡帳で伝えている。個々の発達の状況については全職員で共通認識されている。気になる点は職員会議で話し合われ今後の保育活動に生かされている。発達については保護者の質問も多くその都度丁寧に答えている。 ② 子どもの発達にあった環境設定と遊具が考えられクラスから新たな遊具の提案がある 一人一人の発達に合わせた環境設定が考えられ、押しやり引っ張ったりする遊具や室内滑り台など体を使って遊ぶための遊具が準備されている。パズルや紙芝居、手作り遊具の工夫など子どものあそびの姿を想定された環境と遊具が揃えられている。一人一人の特性に配慮した遊びの工夫で成長発達が促されている。クラスから常に提案が出され、全職員で論議され子どもの姿の共有が図られている。 ③ 子どもの気持ちに寄り添った保育が実施されている 子どもの気持ちに寄り添うことを大切にし、状況に応じて個別の対応や配慮、スキンシップなど丁寧に子どもと関わりながら保育が実施されている。保護者の生活習慣や価値観に合わせて育てができるようにコミュニケーションを図りお互いを尊重しあう関係ができていく。かみつやひっかきなど発達年齢に応じて起きることもあり、保護者には状況を説明し、理解されている。お便りも出されており職員も状況を確認し対応を話し合っている。職員研修にもつなげ情報共有をしている。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点(○○○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評			

- ① 保護者と連携し生活リズムを大切にし個別の配慮に努めている
一人一人の個別の指導計画が作成されている。睡眠や食事の状況は登園時に保護者とコミュニケーションを図り前日の子どもの様子を聞き、その日の状態に合わせて保育を実施している。睡眠リズムがなかなか確立できない子や1回寝や2回寝もあることから一人一人に合わせた生活リズムを大切にしている。食事内容や量、形態については家庭の状況に合わせながら調理室と連携をとり、その日の子どもの状況を把握しながら対応している。降園時に保護者にその日の様子を伝え家庭の対応と差がないように配慮がなされている。
- ② 園全体で子どもの状態を共有できるように話し合いを重ねている
月2回のリーダー会議を実施し、子どもの状態を出し合い保育の状況について話し合いを重ね今後の対応を行っている。子どもの生活については食事を含め担任だけでなく調理室との連携を大切に生活リズムが崩れることのないように一人一人に合わせた対応がなされている。交替勤務や早番遅番のローテーションの中で授乳や睡眠など職員同士の申し送りも細かく実施され保護者への連絡など丁寧な対応がなされている。
- ③ 家庭との連携のもとでトイレトレーニングが実施されている
トイレトレーニングは家庭との連携を大切にしておむつはずしの時期は一人一人に合わせて対応している。保護者からの質問もあり子どもに合わせることの大切さを丁寧に説明している。紙おむつは家庭から必要枚数を持参してもらい処分については園で対処している。連絡ノートや保護者との対話を重ねながら基本的生活習慣の確立について伝えている。一人一人の育ちを大切に焦らずゆっくり子育てができるように援助がなされている。

3	評価項目 3		
	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点 (○○○○○○)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
	◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
	評価項目 3 の講評		
	① 年齢に合わせた室内遊具や戸外遊びなど環境の工夫がなされている 引っ張る遊具、歯固め、ブロック、パズルなど発達に合わせた遊具が揃えられている。室内あそびではままごとや紙芝居、パネルシアターなど子どもの好みや主体性を大切にしながら遊びが工夫されている。戸外あそびは近くの公園への散歩、固定遊具でのあそびを取り入れ楽しく体を動かす機会を大切にしている。「お散歩マップ」を職員が手作りで作成し保育に活用されていると同時に保護者へも情報発信の手立てになっている。2歳児は集団あそびの入り口としてごっこあそびを取り入れている。子どもたちが楽しめるカリキュラムが作成されている。		
	② 子どもの自己肯定感を育むことを大切に保育が営まれている 一人一人が満足でき、大切にされているという自己肯定感を育てることを保育の中心におかれている。目の前の子どもの気持ちや状況に寄り添いながら個別の対応とスキンシップがとられている。子どもが十分に遊び込めるよう、保育者の配慮がなされている。その場に応じた子どもへの声掛けや対応の仕方について保育者間で気づいたことは話し合える環境づくりがされている。季節の遊び、製作、他クラスとの交流など子どもたちが楽しめるあそびが日々工夫されているため保護者の満足度は高い。		
	③ 保育者の遊びの幅の広さがあり保育園の財産になっている 保育者に経験者が多く様々な遊びを身に付けていることは保育園の財産になっている。職員主体のプロジェクト「リズムパフォーマンス」は解散されたガリズムあそびとして「パブリカ」などが保育の中に取り入れられ2歳児を中心に楽しんでいる。子どもだけでなく保育者も楽しんで保育をしている様子が伺われる。保護者から「子どもが楽しく保育		

	園に通ってくれている」という感想が寄せられ保育内容に対しても保護者の満足度は高い。		
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
	評価項目 4 の講評		
	① 季節の行事は大切にされ子どもたちが楽しく参加できる工夫がされている 七夕会やクリスマス会などの季節の行事は子どもたちが興味関心を持ち楽しみながら参加できる企画になっている。行事に向けて乳児クラスも製作などに取り組んでいる。子どもの様子は保護者にフェイスブックや掲示物、保育ドキュメンテーション等で発信され保護者の理解に努めている。保護者の満足度は高く動画配信も今後計画されている。行事の時の給食メニューに対する関心も高く子どもたちが楽しんでいる姿が伺える。コロナ禍で保護者参加の行事は少ないが今後に期待される。		
	② 子どもたちが主体的に関われる行事企画になっている 行事は子どもたちが主体的に関われる取り組みがなされている。七夕飾りやクリスマスツリーの装飾も乳児クラスも積極的に関わりを持たせている。行事に向けて楽しい環境設定と雰囲気作りで紙芝居やペープサートを見たり歌を歌ったりして様々な経験ができる保育が計画されている。行事以外にも夏はスイカ割りなど季節ならではの保育も盛り込まれている。写真掲示などで保護者にも保育の様子は細かく伝えられている。		
	③ コロナ禍で親子参加行事が少なくなったが今後に期待する 親子参加行事は今まで保護者の負担を考え少なくしてきた。特に乳児を抱えた保護者にとっては負担が大きいと考えられてきた。コロナ禍で感染症予防も含めてほとんど中止にしてきたが、初めての親子参加行事としてハロウィンを計画している。親子で楽しむゲームなどの遊びを企画している。保護者同士のコミュニケーションも大切にしているため十分準備をして実現できることを期待している。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (○○)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		
	① ゆったりとした環境の中で落ち着いて生活できることを大切にしている ゆったりとした環境と雰囲気作りを大切にしている。長時間保育は保育者と1対1での遊びやスキンシップなど一人一人が落ち着いて生活できるように配慮している。1～2人など少ない人数になった時に子どもが不安にならないように保護者のお迎えに見通しが持てるような言葉かけに努めている。乳児のため長時間保育のためのカリキュラムは立てずその日の子どもの状態に合わせて保育が行われている。子どもの生活リズムを大切にして気持ちに寄り添った保育がされている。		
	② 子どもの様子について保護者に丁寧な説明を心がけている 日中の保育の様子や流れを大切にして、担任同士の申し送り事項は常に確認され共有されている。特に睡眠や授乳など低月齢児は夕方にかかることも多いため一人一人の生活リズムを大切にして子どもの状況に合わせて対応している。保護者には日中と夕方の子どもの様子を丁寧に伝え家庭の生活との連携を大切にしている。全職員（保育士）が交替勤務に入っているため子どもの状態について綿密な連絡と申し送りをして共有が図られている。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (○○○○)

評価		標準項目	
◎あり ○なし		1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし		2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし		3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし		4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
評価項目 6 の講評			
① 落ち着いて楽しく食事ができることを工夫し保育所全体で取り組んでいる 出汁、薄味、旬の食材を大切に献立になっている。サイクルメニューを取り入れ子どもたちの食べ具合によって切り方や味付けに変化をつけ工夫した食事になっている。調理室との連携でその日の子どもの状態や一人一人に合わせた対応をしている。離乳食は家庭との連携を大切にその子の発達状況に合わせて提供されている。中期食から開始され初めての食材は、最初は家庭で食べさせてもらうことを前提に進められている。食材チェック表が入園時に渡され、家庭へのアドバイスが丁寧になされている。 ② お誕生日メニューやアレルギー対応、離乳食などの食事の対応が丁寧に進められている お誕生日メニューとして誕生日にその子の好きなメニューを保護者からリサーチして献立に入れている。子どもも楽しみにしているが保護者の期待も大きいことが伺われる。アレルギーは医師の指示書と生活管理指導表を基に実施している。食材だけでなく食器、椅子、テーブルなども誤食のないようにチェック体制が整備されている。離乳食は保育室、調理、家庭との連携で咀嚼や嚥下などの状態また発育状況やその日の体調などに対して丁寧に対応されている。 ③ 食育活動に力点を置き、子どもの主体性を大切に楽しく食事をする 子どもの主体性を大切に新しい食材や嫌いな食材などは無理強いすることなく楽しく食事ができるよう一人一人に合わせながら環境設定も考えて対応されている。食育は園庭プランターでオクラを育てたり皮むきをしたりなど子どもたちの興味や関心が育つように計画されている。食育活動は指導計画の中に記載されているがその日の食材に応じて不定期に実施されていることが多い。子どもたちが楽しく活動に取り組んでいけるよう配慮されている。			
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点（○○○）		
評価		標準項目	
◎あり ○なし		1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし		2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし		3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目 7 の講評			
① 子どもの体調管理と事故防止に努めた配慮がなされている ケガや事故を防ぐ環境設定に配慮して保育にあたっている。コーナーガード、棚の点検。ドアの指詰め防止などの点検チェックを職員会議で確認し職員間で共有している。毎日の連絡ノートや送迎時の保育者とのコミュニケーションで家庭での子どもの様子を確認し保育にあたっている。37度5分以上の発熱は保育を控えてもらうと同時に保育中でも37度5分の発熱でお迎えをお願いしている。また家庭でも38度を越えた場合は24時間の見守りをし、状態の把握をしてもらっている。健康管理は保護者と密な連携がなされている。 ② 睡眠時チェックやアレルギー対応などの体制の整備がなされている SIDS防止のため2歳児までプレスチェックを実施し記録されている。仰向け寝の徹底と子どもの体位の確認、記録者が記載され常時目を離すことのないように体制が取られている。保育中のケガについては特に頭から上のケガは必ず受診している。通院には園長が同伴し保護者への連絡と申し送り書に記載し全職員で確認し共有している。食物アレルギーに対しては医師の指示書と生活管理指導表で管理されている。熱性けいれんは園で薬を預かり、必要場合は保護者、医師の連絡の上で与薬している。体調の変化について綿密な対応と体制がとられている。 ③ 子ども発達の状況については職員間で共有し保育上の配慮がなされている 発達状況については個々の子どもに応じて保育上の必要な配慮がなされている。対応については意思疎通を大切にし、保育に関わる全職員が共通の認識のもとで保育がなされている。子どもの発達に関しては、必要に応じて保護者と連			

	携し保健所の乳児検診の受診やその後の対応を報告してもらっている。保護者から発達に関して質問や相談もあり、担任が丁寧に答えている。質問等については個別の指導計画をもとに職員会議の際に全職員で確認され共有されている。		
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(○○○○○)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目 8 の講評		
	① 保護者からの園に対する信頼度は高くコミュニケーションがとれている 利用者アンケートの提出が全家庭になっており、保育園に対する保護者の信頼度が高いことが伺える。保育内容についても満足度は高く送迎時のコミュニケーションもとれている。行事に関しては保護者の負担の軽減がなされ親子参加行事を少なくしたり、またおしぼりやスタイは園の管理になっていることで、家庭での家事育児の負担に対する援助も行われている。連絡ノートは丁寧に記載され日中の保育内容がわかりやすく伝えられている。保護者の質問にはそのつど担任が丁寧に答えている。保護者との信頼関係が確立されていることが伺われる。 ② 保育ドキュメンテーションやフェイスブックなどで保育の様子が保護者に伝えられている 保育ドキュメンテーションやフェイスブック等で保育内容を保護者に伝え理解を求める努力がなされている。動画配信の希望もあるが今後の課題としている。写真販売について保護者代表が運営委員会で無償販売を提案し実現に至っている。ドキュメンテーションは職員の負担はあるが、保護者からは保育の様子がわかると好評を得ている。かみつきやひっかきなど成長の過程で起きる問題については保護者に説明すると同時におたよりでも発信されている。一つ一つ丁寧に保護者に対応されている様子が見られる。 ③ 保護者参加行事の企画と工夫がされている 保護者参加行事はコロナ禍で自粛はやむを得ないが、保護者の希望もあり少しずつ取り入れてきている。当面はハロウィンの親子参加や離乳食試食イベント、保護者参加の懇談会が企画されている。連絡ノートや送迎時のコミュニケーションだけでなく、必要に応じて個人面談も実施している。ZOOMでの懇談会も予定に挙げているが設備など家庭の状況を考慮する必要があると考えられている。保育園の基本に子育てを大切にして保護者とのコミュニケーションの構築に努めている様子が伺える。		
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(○○)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目 9 の講評		
	① 地域の中で子育てをしていくことを理念の中に掲げて保育がなされている 地域社会に共生する子どもを育むことを理念に掲げている。地域交流は保育の要になっている。地域と共に子どもを育てるためには公共施設や区のセンターが活用されている。老人施設の訪問はコロナ禍で自粛せざるを得ないが子どもの製作物を届けたりビデオレターの制作も計画している。防災時の対応など災害対策の一助になっていることで保育園が地域での役割を果たしていることが伺える。 ② 食育イベントを計画し地域の親子に対して試食会を企画してきた 食育イベントとして「保育園の給食を食べてみよう」というテーマで試食会を計画してきた。感染予防のため1回に1組という限られた人数で実施せざるを得なかったが、地域のお母さんからはバランスの良い野菜の大きさなど参考に		

なったと非常に好評だった。家庭以外の経験で親子共に楽しい時間を過ごせたと感想が寄せられている。職員の対応や言葉かけの良さも実感されて今後の継続が期待されている。

③ 保育園が地域の子育て相談の役割を果たしてきている

保育園として地域の子育て相談の役割を果たしてきている。地域から見学の希望は多い。園児の降園後に実施するなど感染予防に気を付けながら実施されてきている。電話相談は園長や担当の職員が対応している。小規模保育園としては兄弟関係もあり転園はやむを得ないが地域の乳児保育施設の良さを生かしてその役割を果たしていくことを今後とも期待している。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5 - 2 - 1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル①	職員主体の園内研修として保育力向上の年間計画を立案し、取り組んでいる	
内容①	当園では、職員主体の園内研修として保育力向上の年間計画を立案している。室内環境や戸外遊び、散歩マップ、製作、玩具、保育計画についてなどそれぞれの課題をテーマごとに学び合い検討している。内容は1カ月で成果がでる内容として細かく設定し、無理なく学び合えるように工夫している。散歩マップは公園ごとに見直しを図り、園で掲示し保護者にも伝えている。それぞれのテーマについて職員が自主的に取り組むことで意識改革への意欲を高め、保育力の向上につなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	運営委員会が設立されており組織メンバーの一員に保護者代表が参加し利用者意見を園運営に反映させている
	内容	年に2回運営委員会が開催されている。組織メンバーは園長、園職員、保護者代表2名、第三者委員を含め6名で構成されている。保護者の代表が入ることによって利用者の意見が園運営に反映されやすい組織になっている。利用者から写真の無料販売の提案がありLINEで無料での写真提供が実現した。個々の保護者の意見が園運営に生かされていることは家庭との連携を大切にしたい取り組みとして評価される。利用者の満足度も高く保護者と共育ができる保育園作りをしていく基盤として今後とも運営委員会の活動に期待している。
2	タイトル	想定されるリスクの優先順位や職員の役割を検討し、行動に結び付けられるように進めている
	内容	区内の小規模保育園として大規模災害や深刻な事故は、区からの情報入手や指示を仰ぐとしている。危機管理マニュアルに基づく訓練や通報訓練や事故、けがの際の職員の役割確認や大規模災害に備えた訓練を実施している。また、影響の大きいリスクに対応する事業継続計画（BCP）を区の意向に基づき洪水時の避難確保計画を整備している。園長は想定されるリスクの洗い出しや優先順位、各職員の役割などの方法や手段を再確認してまとめ、各職員の具体的な行動に結び付けられる取組を進めている。
3	タイトル	当園は、手厚い体制で保育を展開しており、保護者とのコミュニケーションを大切に行い、子どもの気持ちに寄り添う保育に努めている
	内容	開園して2年目の当園は、手厚い体制で保育を展開しており、保護者とのコミュニケーションを大切に行い、子どもの気持ちに寄り添う保育に努めている。コロナ禍でもできることを模索し、地域貢献活動として保育体験や給食試食、育児相談を実施している。保護者に対してはドキュメンテーションを貼り出して園の様子を伝える取組や緊急事態宣言中でもZOOMを使用した個人面談などを行い、子どもの様子を伝えることを大切に取り組んでいる。利用者調査からも園に対する感謝の声が多く寄せられており総合満足度が100%と高い評価を得ている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	日常の健康管理の記録の整理で子どもの健康状態の把握と職員間の共有が図られる
	内容	子どもの健康管理については児童票に食事、睡眠、排せつの生活習慣や予防接種についてが記載されている。出生歴や乳幼児健診、アレルギーなどは保護者の聞き取りの上で記載されている。保育中の体調の変化、発熱、通院、ケガ事故、は「申し送りノート」に書かれ家庭での状況は「登降園連絡事項表」に記載されている。各々は職員間で共有されているが、子どもの健康記録として一つにまとめられると在園児の健康管理が把握しやすくなる。また転園退園後の申し送り事項としても活用できる。児童票の保育記録と並行してまとめていかれることを期待する。

2	タイトル	今後の一層の充実に向けた取組として、自己チェックシートの活用などで、職員の自己点検の機会や効果を高めることに期待したい
	内容	当園では、子どもに対する言葉遣いや対応などを含めた自己チェックシートでの振り返りや、年3回の職員面談で職員提案や聞き取りを行っている。一方、職員アンケートの結果を見ると、一部の職員から子どもの人権に対する意識が十分でない点が述べられていた。普段の言葉遣いや態度など、自分では気づかないうちに周囲の人を傷つけている場合があるため、園内研修や他己チェックなども活用し、人権感覚の向上を期待したい。園長と面談を行い、互いに気づきを検証しながら進めていくことで、より一層の気づきを促すと思われる。
3	タイトル	主体的に学び合っているチームワークを活かし、自分たちが活用しやすいマニュアルの作成に期待したい
	内容	当園は保育者業務や安全面、コンプライアンスなどカテゴリーをわけたマニュアルを作成している。「保育するにあたって」や「勤務するにあたって」、緊急時に対する各種マニュアルなど職員に配布し一定水準の保育を提供している。今回、職員からはより詳細な保育マニュアルの作成についての声があがっている。主体的に学び合っているチームワークを活かして、より業務内容が明確になるように職員で検討し、プロジェクトチームを組んで取り組むなど、自分たちが活用しやすいマニュアルの作成に期待したい。

